

山形県漁業調整規則（令和２年県規則第 66 号）第 12 条第 1 項、第 2 項、第 5 項、第 14 条第 1 項及び第 16 条第 2 項の規定により、漁業の許可又は認可を行う制限措置を定め、当該制限措置の内容及び許可又は起業の認可を申請すべき期間、許可の有効期間、許可等の条件及び許可の基準を次のように定める。

令和 7 年 12 月 16 日

山形県知事 吉村 美栄子

1 固定式刺し網漁業

（１）許可又は起業の認可をすべき船舶等の数及び船舶の総トン数その他の制限措置

漁業種類	水産動植物の種類	漁具の種類その他の漁業の方法	操業区域	漁業時期	推進機関の馬力数	船舶の総トン数	許可又は起業の認可をすべき船舶等の数	漁業を営む者の資格
雑魚刺し網漁業	雑魚	刺し網	操業区域（別記の操業区域をいう。）	2 月 1 日から 12 月 31 日まで	定めなし（ただし性能の基準等、別に定めのある場合はその基準を満たしていること）	5 トン未満	9 隻	1 山形県飽海郡遊佐町又は酒田市（ただし酒田市飛島を除く。）に住所を有する者 2 山形県の漁船登録を受けた漁船の使用

（２）許可又は起業の認可を申請すべき期間

令和 7 年 12 月 16 日から令和 8 年 1 月 16 日まで

（３）備考

ア この公示に係る許可の有効期間は、令和 8 年 2 月 1 日から令和 9 年 1 月 31 日までとする。

イ この公示に係る許可又は起業の認可には、次に掲げる内容の条件を付する。

（１）使用できる漁具数は、1 張り 15 反以内とし、2 張りまでとする。

ただし、「雑魚刺し網漁業」のうち海共第 2 号第二種共同漁業に定める漁業と同様の形態で行う操業については、共同漁業海共第 2 号の漁業権者が、海共第 2 号第二種共同漁業に定める漁業につき、資源保護等のため必要と認め、漁具の方法、区域の制限等を公示した場合には、その内容を遵守するものとする。

（２）漁具の両端のボンデンには、水面上 1.5 メートル以上の高さに船名を明記した標旗を掲げなければならない。

この場合、夜間においては、当該ボンデンに電灯その他の照明を掲げなければな

らない。

(3) 護岸工事(災害緊急工事を含む)の作業に支障をきたさないこと。

ウ 許可の基準は以下のとおりとする。

申請時点において、山形県知事から「雑魚刺し網漁業」の許可を受けている者を優先するものとする。

なお、同順位である者の相互間については、くじにより優先順位を決めるものとする。

別記 操業区域(世界測地系表記)

次のア、イ、ウ、エ、オ、カ及びアの各点を順次に結んだ線分で囲まれた山形県沖合海面とする。

ア	北緯38度59. 351分	東経139度49. 797分
イ	北緯38度58. 151分	東経139度49. 179分
ウ	北緯38度58. 107分	東経139度49. 320分
エ	北緯38度58. 605分	東経139度49. 569分
オ	北緯38度58. 508分	東経139度49. 887分
カ	北緯38度59. 192分	東経139度50. 308分